

競技規則の要点

1. 競技場について

- ① 塁間は、16mで実施する。
- ② コーチャーズサークルは、設けない。(コーチャーは立てない)

2. 用具について

- ① 試合に使用する用具(ボール・バット・バッティンググローブ)は主催者で用意する。(グローブは、各自で用意。金属スパイクは禁止。)
- ② ボールは、ケンコーティールボール11インチゴム製を使用する。
- ③ バットは、SGマーク(製品安全協会認定)製品を使用する。サイズはS・M(小学生用)の二種類とする。

3. チーム編成とプレイヤー

- ① プレイヤーは、10人とする。エキストラヒッター(打つだけの選手)は採用しない。
- ② 基本的守備位置については、競技規則で確認する。
- ③ メンバー表の交換は、特に行わない。
- ④ 背番号を必ずつけて、メンバーが確認できるようにする。

4. 試合について

① トーナメント方式

全員攻撃制で実施。予選・決勝トーナメントとも、2回(イニング)とする。

予選トーナメントは、勝敗に関係なく2イニング表裏まで実施する。決勝トーナメントは、勝敗が明確になったとき、試合途中で攻撃を省略する。

試合の最終回が終了した時点で同点の場合は、タイブレーク(満塁:走者8、9、10番打者、打者3人:1~3番打者)を行う。タイブレークで勝敗が決しないとき、代表1名による抽選を実施し、順位を決定する。但し、決勝戦は勝敗がつくまでタイブレークを行う。

② 全員攻撃制の注意点

- ・ 両チームが攻撃と守備に分かれ、攻撃側の全打者が攻撃を完了した時点で攻守を交代する。
- ・ 残塁の走者は次の回に受け継ぐ。(最終回を除く。)
- ・ 1回の最終バッターするとき、フライを打った時やフォースプレーが行われた場合、塁上のランナーの進塁は認めない。
- ・ 最終回最終バッターするとき、通常のアウトのほか、ボールを保持した守備者が本塁ベースを踏んだ瞬間に試合(イニング)終了とする。

- ③ 次の試合のチームは、前の試合が終了するまでに移動や準備を完了しておく。(速やかに試合が始められるよう協力をお願いします。)

- ④ 試合を迅速に進めるため、フィールディングとボール回しは禁止する。

5. 打者(バッター)について

- ① 「プレイ」の宣告後、速やかにバッティングを行う。
- ② 打つときに、軸足を2歩以上動いたとき、ストライク。
- ③ ボールに触れずにバッティングティーを打ったとき、ストライク。
- ④ バントは禁止。バントやプッシュバントと球審が判断したとき、ストライク。
※ 故意に、スウィングを遅くしたときもストライク。
- ⑤ 第2ストライク後、打球がファールボールとなったとき、アウト。
- ⑥ バットを放り投げは禁止する。

6. 走者(ランナー)について

- ① 離塁は打者が打撃した後とし、違反した場合はアウト。
- ② 盗塁は禁止。(タッチアップは認められる。)
- ③ スライディングは禁止とし、すべての塁で駆け抜けを認める。ただし、次塁をねらう意思があると判断された場合は、駆け抜けとはみなさない。
- ④ インフィールドフライはなし。

7. ボールデッドについて

- ① プレイが一段落した段階(守備側の内野手がボールを保持し、攻撃側の走者が進塁の意思を見せずに止まったとき)で、ボールデッドの判断をする。

内野の守備は、ダイヤモンドより後方に位置する。安全確保(怪我防止)のため。打撃が行われたと同時に移動可。

開会式後、グラウンドに入れるチームは、次の試合を行うチームとさらに次の試合を行うチームです。試合が終わるごとに次に試合を行うチームがグラウンドに入ることが出来ます。但し、バッティング指導を受けるチーム(個人)はいつでもグラウンドに入ることが出来ます。

※ 決勝戦のみ、スタンドで応援の保護者のみなさんは、グラウンド内で応援できます。

※ ルールについては、「公認ティーボール規則」に準じて実施します。

ただし、ティーボールの理念から、その状況に応じて特別な配慮をすることもあります。その場合は、審判の指示に従ってください。